

宗像市市民参画等推進審議会 会議録（要点筆記）

日 時	令和8年5月10日（日） 10:00～12:30		
場 所	メイトム宗像 202 会議室		
委 員	<input checked="" type="checkbox"/> 朝倉拓郎 <input type="checkbox"/> 高山國敏 <input checked="" type="checkbox"/> 水島直子	<input type="checkbox"/> 今津理恵 <input checked="" type="checkbox"/> 種田明美 <input type="checkbox"/> 米倉仁美	<input type="checkbox"/> 賀来元彦 <input type="checkbox"/> 中村昌史 <input checked="" type="checkbox"/> 鈴木邦治 <input checked="" type="checkbox"/> 福岡佐知子 （五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ協働推進課 <input type="checkbox"/> 田中 <input checked="" type="checkbox"/> 高山 <input checked="" type="checkbox"/> 濱本 <input checked="" type="checkbox"/> 平川 <input checked="" type="checkbox"/> 綱脇		

1. 本日のスケジュール等について

事務局から1日のスケジュールや審査会の流れ等について説明

2. 令和8年度宗像市人づくりでまちづくり事業補助金【めぶきコース】審査会

①団体名：むなかた MAMMA

申請内容：団体 PR、イベント実施等

市関連部署：-

団体から申請内容について説明後、委員との質疑応答

（委員） 日頃の活動はどのようなことをしているか。また、5月と10月のイベントはどのようなことをするのか。

（団体） 毎月第4木曜日に乳がんサバイバー（乳がん経験者）と現在治療を受けている人が交流するサロンを開いている。経験者からの具体的なアドバイスが聞けたり、家族には話せないことを相談できたりする場であり、来る人達が頑張っている姿をみると団体の会員も元気をもらっている。5月と10月のイベントは、道の駅等で啓発リーフレットを配布する活動を行う。

（委員） リーフレット配布以外の啓発活動は考えているか。

（団体） 若い世代に向けて SNS の活用も検討している。

（委員） 若い世代にアプローチするために大学等との連携も検討してほしい。

（委員） 会員を増やすための取り組みとして、薬膳料理教室をなぜ選んだのか。

（団体） 若い世代で薬膳料理に興味を持つ人が多いので、健康づくりから関心を持ってもらい、そこからつなげることができればと考えている。

（委員） 団体の活動を広めるためにも、これまでの活動をまとめたリーフレット等があると、団体の信頼を高めることにもつながるので検討してほしい。

②団体名：琉球太鼓 縁 (enne)

申請内容：備品購入、団体 PR

市関連部署：-

団体から申請内容について説明後、委員との質疑応答

(委員) 毎月の会費は何に使用しているのか。

(団体) 週に 1 回の練習を行う際の施設料として徴収している。現在は月払いではなく、1 回分をその都度徴収している。

(委員) 予算に計上しているサブスクリプションはどのように使用するのか。

(団体) 演舞を行う際の音源として使用する。CD を使うよりも様々な曲を手軽に使用でき、パフォーマンスの質を上げられると考えている。

③団体名：未来通信イノベーション協会

申請内容：備品購入、団体 PR

市関連部署：-

団体から申請内容について説明後、委員との質疑応答

(委員) 今日のイベント以外にこれまでどのようなイベントをしてきたのか。

(団体) 団体の説明会や参加者同士の交流会を毎月 1 回行っているが、大きなイベントは今日が初めて。

(委員) 団体説明会の募集はどのように行っているのか。また、説明会や交流会はどこで行っていて、どれくらい集まっているのか。

(団体) Instagram での発信や、興味がありそうな人に直接声をかけて行っている。場所は、メイトム宗像を使用しており、毎回 7~8 人。繰り返し来る人もいるので新しい方は毎回 1~2 人程度。

(委員) 団体の活動目的に様々な分野のことが書かれており、中心となるものが見えにくい。団体の活動の核になっているものは何か。

(団体) 子育て中で資格や技術、経験を持ちながら生かせていない人が社会に出て、活躍してもらうための最初の一步を支援することが核になっている。

④団体名：シン教育宗像

申請内容：イベント実施、団体 PR 等

市関連部署：教育総務課

団体から申請内容について説明後、委員との質疑応答

(委員) 収入にある賛助金は広告費のようなものか。

(団体) 賛助金は賛同者に 1 口 500 円を 2 口いただいているもの。現在 140 人近い

る。広告掲載は中立性の観点から現時点では考えていない。

(委員) 過去に発行していた情報誌は先生方のサークル内の機関誌のような形で優れた教育実践を蓄える機能があったかと思うが、補助金によって誰に届けたいという考えはあるか。また若い先生、困っている先生等に広く届けるための工夫は検討されているか。

(団体) 自分たちの実践したことを伝承し、若い人に伝えたいという気持ちはあるが、直接のつながりは少ない。いきなり広くというよりも最初は賛同していただいている人から順に広げていくことになると思う。

(委員) 情報誌は何部印刷し、誰に届ける予定か。

(団体) 200部印刷し、賛同者への配布と、残りは今後広げていくために活用する。

(委員) 学校に関心のある市民との交流も視野に入れているとのことだが、市内には市民活動団体との一緒に動くことは検討できないか。

(団体) 宗像市にはコミュニティスクールもあり、いろんな方がいらっしゃると思うので、ぜひしていきたい。

～ 閉会 ～